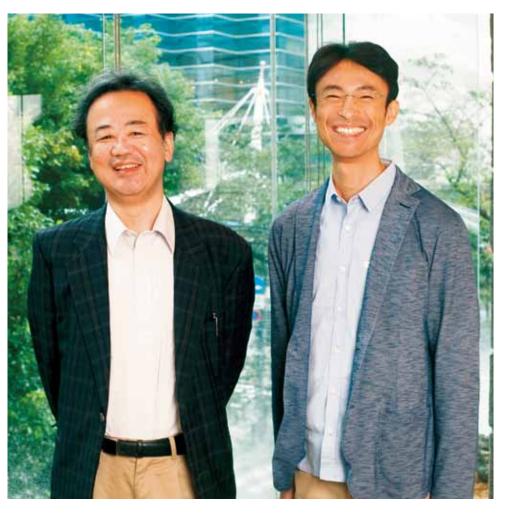
# 健子タイム



になっています。も、2000年の創業以来、製品研究開発顧問としてたいへんお世話も、2000年の創業以来、製品研究開発顧問としてたいへんお世話している波動測定の第一人者・山梨浩利さん。私どもエヌ・ピュアーさまざまな実験などを通じて、目にはみえない「波動」の存在を証明

「波動とはなにか?」ということについてお話を伺いました。前編の今回は、山梨さんが「波動」に携わるようになったきっかけや

#### 対談編

# ゲスト 山梨浩利さん・前編

#### 鳴海周平(以下、鳴海)

弊社エヌ・ピュアが、製品の研究開発で山梨先生のお世話になるようになってから、もう17年が経つんですね。おかけざまで、お客様からは「波動が高いから、すぐに体感できるエヌ・ピュアら、すぐに体感できるエヌ・ピュアいただいています。

#### 山梨浩利さん(以下、山梨)

開発させてもらっています。
でもいいから、自然の摂理にかなった意波動の製品を」という鳴海さんの言意が動の製品を」という鳴海さんの言いがある。「どれだけ時間がかかっ

にありがたい(笑)。「自然の恵みをそのさんのように採算度外視の方は本当いと納得できないタイプなので、鳴海

ままお届けしたい」というエヌ・ピュア

## 関心があった小学生時代「料理」と「貝殻」に

います。

さんの企業理念にも、とても共感して

うです。 ら、とことんやってみたい性格だったよら、とことんやってみたい性格だったよ

や酸を加えることで生じる変化。それのは、お菓子づくり。特に、クレープやのは、お菓子づくり。特に、クレープやかったら美味しくなるのか、レシピにおいてある分量を増やしたり減らしたり、原料を別のものに変えてみたり、とう供ながらにいろいろ工夫してみたり、原料を別のものに変えてみたり、とう、原料を別のものに変えてみたり、とり、原料を別のものに変えてみたり、とかいました。どうかいがあったが、原料を別のものです。ただ、本当には、関心があったが、原料を別のものです。ただ、本当には、対していました。

飽きなかったですね。を、ただじっと見ているだけでも、全然

「こだわり」の片鱗がみえますね。 鳴海 当時から、ものづくりに対する

(笑)。 は相当高くついていたと思いますがとても評判がよかったんですよ。原価とても評判がよかったんですよ。原価

自宅が海から200mほどと近いこ自宅が海から200mほどと近いこともあって、貝殻拾いもよくやりました。海岸に流れ着いた貝殻を拾っては水晶や蛍石といった鉱石も、よくス水晶や蛍石といった鉱石も、よくスか手しました。こちらもやはり、模様の中に「一定の規則性」を見つけること

なものを感じていたのかもしれません。どの美しさから「自然界の法則」のよう今思えば、貝殻や鉱石の形、模様な

高い」とも。 もっとも波動が高い」というのは、山梨 生が日頃よく仰っていることですね。 生が日頃よく仰っていることですね。

わかりやすい判断基準だと思います。は、美味しいし、美しいんですね。とても高い=自然の摂理にかなっている」もの人間も自然界の一部だから、「波動が

山梨 「美味しい」「美しい」と感じるのは、なぜなんだろう?自分なりに、このは、なぜなんだろう?自分なりに、このた。でも、当時は半導体ブーム。そのした。でも、当時は半導体ブーム。そのもその分野の技術者確保に重点をおいもその分野の技術者確保に重点をおいていましたから、同期のほとんどはそていましたから、同期のほとんどはそちらの道に進みました。

は、唯一、名古屋製酪だけだったんです。自分が希望していた「食」関係の会社

## 社長の「思いつき」から?

ができました。開発にまったくのゼロから携わることは、ラッキーなことに、いくつもの商品は、ラッキーなことに、いくつもの商品は、対象が決まった名古屋製酪で

特に思い出に残っているのはコーヒーの開発。生豆の仕入れのため、単身ブラジルへ渡り、先ずはコーヒー園身ブラジルへ渡り、先ずはコーヒー園が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、今度は工場の準備。が決まったら、特別では、当時に思い出に残っているのはコーとができたんです。

本当にありがたい経験でした。て「美味しさ」を追求できたことは、他にもさまざまな商品開発を通し

ですか? 「波動」という概念は用いられていたの鳴海 当時の商品開発にも、すでに

ていました。
法、工程などから「美味しさ」を求めや産地、組み合わせや配合、製造方や産地、組み合わせや配合、製造方

ですね。(笑)ですれ。(笑)と、ちょっと嬉しかった説明できることがわかった時は「やっさ」が、後になって波動という概念でもでも、この頃に追求していた「美味し

鳴海 人間も自然界の一部だから、●波動が高い」ということと一致する 着く先も、「自然の摂理にかなっている でしい」「美しい」という感性が行き

有のエネルギーが波動である」しており、それぞれが持っている固「生命体を含めた万物はすべて振動う概念がアメリカから入ってきました。

社長は「これからの時代は波動が「波動測定器」だというんですね。

入を決めてしまったんです。 なものでしたが、さっそく会社への導 だ!」と思ったのでしょう。かなり高価

うと冷めた目で見ていました。(笑) 触れ込みでしたが、私はどちらかといまなことを判断できる分析機械という

に…(笑) **鳴海** 社長がせっかく買ってきたの

度のものだったんですよ。学んだ人間なら「こんな機械で測定できるわけがない」と思ってもおかしくさんだ人間なら「こんな機械で測定でが、パソコンに毛の生えた程

でしばらく放置されていまゆる基礎的なプログラム言語で構成されていた単純なもので、適切なマニュアルもない。けっきょくは誰も使いこなせないまま、研究室の片隅でホコリをせないまま、研究室の片隅ではないこかでは

事を片付けようと思って出勤したら、 赤とその機械が目に入ったんです。 それで、ちょっとだけと思って遊んでい たら、だんだん手に受ける感触が変 わってくる。「あれ、この機械は何だか 面白いぞ」と…。それからは、仕事が早 めに片付くと、その機械で遊び続ける



#### どういうことか?「波動を測定する」とは、

ようになったんです。どが、その機械で「とてもよく当たる」間の健康状態や食べものの善し悪しなな。最初の触れ込みどおり、たしかに人は、それで、ひと月ほど経った頃か出く。

社長は私の出す波動数値に感動して、家族や社員、友人、知人、ついには得意先にまで「波動」を力説するようにまの話はあっという間に広がって、氣なりました。社長は有名人でしたから、この話はあっという間に広がって、氣なりました。社長は私の出す波動数値に感動していです。

名古屋から東京へ転勤になった私は、名古屋から東京へ転勤になった私は、東京で波動関係の責任者となり、自社東京で波動関係の責任者となり、自社をよった。体験された方々は「こんなことました。体験された方々は「こんなこととでわかっちゃうの?」 凄い機械だまでわかっちゃうの? 凄い機械だること、皆一様に驚きます。最初は半までわかっちゃうの? という事実を、体に手疑だった私も、測定数値が次からに当たっていく」という事実を、体に手疑だった私も、測定数値が次から、場に受け入れるしかありませんでした。

うことでしょう。出す「波動数値」に信憑性があったといだったんですね。それだけ、山梨先生のに、かっという間の展開

しょう?でも、初めの頃は説明が難しかった

山梨 そう、だから説明はほとんどし 方々が「この機械は当たる」と、「実感し て、納得した」ということでしょうね。 私たちはふだん五感を通して、色や 私たちはふだん五感を通して、色や 切い、味、音、感触といったさまざまな 匂い、味、音、感触といったさまざまな ことを感じ取っていますが、この「感じ る」ということが、=(イコール)波動だ と思うんです。

波動と捉えることができます。 で、もっと広い意味で生命体が感じる根源的なこと、例えば「氣」とが感じる根源的なこと、例えば「氣」とが感じる根源的なこと、例えば「氣」とが感じる根源的なこと、のえば「氣」と

する。 う機械を通じて、計数化できたわけで 鳴海 その波動が「波動測定器」とい

古ると、機械自体の構造に、何か別ので、測定の結果が驚くほどよく「当たで、測定の結果が驚くほどよく「当たで、測定の結果が驚くほどよく「当たの、測定の結果が驚くほどよる」と思ったはどうにも説明ができない」と思ったはどうにも説明ができない。

かもしれません。

鳴海 たしかに、対象となるものが同い。 になのに、測定者によって数値が変わるというのは、「測定者の意識」が大きるというのは、「測定者の意識」が大きたするというのは、「測定者の意識」が大きたっとについては、一部の科学者の間では、対象となるものが同い。

山梨 その頃、科学者立ち合いのもと で「波動は本当に測定できるのか」という実験をしたことがあるんです。我が 国における脳波研究の第一人者・志賀 国における脳波研究の第一人者・志賀 国における脳波研究の第一人者・志賀

て行います。サンプルの中身がわからないようにしように、実験者も被験者も測定する排して、科学的にもっとも信頼出来るこの実験方法は、トリックや錯覚を

用意して、それぞれに番号をつけます。見た目は同じ透明な液体8種類を

実験でした。 数値を測定した後、計測値を長野県に サンプルは長野県で作り、実験は東京 絶対にトリックができない仕組みでの 送って、中身を知らせてもらうという、 ンドというんですね。それぞれの波動 ないようにしますから、ダブルブライ です。お互い違う番号をふってわから

ち全員が「波動数値は信用出来る」と いうことになってしまったんです。 数値だったので、居合わせた科学者た うように、8種類すべてが納得出来る の数値、自然湧水はプラスの数値とい ン1PPMを希釈したものはマイナス 結果は、水道水に殺虫剤のスミチオ

> 鳴海 うことを証明した、画期的な実験だっ それは数値で示すことができる」とい たと思います。 波動というものが存 在

じだろうと思っていたようですね。 「ミッドアルファ波」と呼ばれるそうで フォーマンスを発揮する時の脳波は 測定している時の脳波も、これと同 流アスリー 、志賀先生は当初、山梨先生が波 } などが 最 高 0)

界にとても興味を持ったようです。

と。志賀先生は、このことと先の実験 いっさい思考していなかった、というこ 出されますから、波動測定中の私は、

何かを考えていれば、脳波は必ず検

(ダブルブラインド)で「波動」という世

す

山梨 アルファ波」はまったく検出されず、ほぼ すく言えば「ご臨終の脳波」です。(笑) 直線状態の脳波のみでした。わかりや そうなんです。ところが、「ミッド

鳴海 生命体の生きていく本能部分である 理論や経験などで判断できないから、 そうです。こうした脳波の状態では、 うな『無念無想無我』の状態だった\_ 測定をしている時の脳波は、禅僧のよ るのだろう、とも仰っていました。 脳幹」に近いところでおこなわれてい 志賀先生日く「山梨先生が波動

と言えるのかもしれませんね。 という媒介を通して数値化している、 体が「本能的に感じたこと」を、測定器 波動測定というのは、山梨先生の身

山梨 るような感覚かもしれません。 サムシンググレート(偉大なる何者か 抜ける、といったイメージです。人間的 な判断や、個人的な見解というよりも、 じる」ことに集中して、その瞬間を駆け 定が出来ません。私は、ただ単純に「感 多すぎると、オペレーターは正確な測 るような感じなんです。感情や情報が いうのは100メートルを全力疾走す 自然界の摂理)の意識と繋がって 私の実感として、波動測定時と

> こし、それが「情報」となります。その 対象物に対して、一種の共鳴、共振を起 イナスとなる。 「情報」が、共鳴ならプラス、拒絶ならマ この時、私という生命体が、測定する

ているんです。 にどれだけ近いか、ということですね。 ことに大きな意味がある、と私は思っ かも、その度合いが数値で示される 測定する対象物が「自然界の摂理」

伺います。どうぞお楽しみに!! 動を高めるコツ」などについてお話を ついてや、毎日の生活で活用できる「波 次号では、波動を高める衣・食・住に





1962年静岡県焼津市に生ま 科卒業。 ま 工業に

まで広がっている。 は事。数々の商品を世に送り出す。 などにも参画。その活躍は、広く海外、などにも参画。その活躍は、広く海外、などにも参画。その活躍は、広く海外、大手食品会社で主に食品の研究開発 発に

(株)エヌ・ピュア研究開発顧問。や企画開発などを行っている。酵、鉱物をテーマにした本物商品の酵、山梨事務所を設立し、微生 研 究発

撮影/高橋聖人